



広島キワニスクラブ

平成 24 年度事業報告・平成 25 年度事業計画

広島キワニスクラブ平成 24 年度事業報告

国際キワニス日本地区の事業計画に沿った事業について

1. クラブの新設と会員増強

1) 会員増強…21 人以上のクラブは 5%以上の純増を目標とする

日本地区全体でH23.10 の会員数 1,634 名から H24.9 末現在 1,693 名と増加した。

- 広島クラブはH23.10 現在の会員数 74 名から 6 名純増を目標としたが達成できなかった
H24.10 現在会員数 72 名。(H24 年度中の入退会の内訳…入会 12 名、退会 14 名)

2) 新設クラブ計画…近隣のキワニスクラブがない地域に働き掛けるという従来の方法とともに、組織の多様化も視野に入れ女性あるいは主婦中心のクラブ新設など多面的な努力を重ねる

【多様化例】

| | |
|----------------|---|
| サテライト 衛星クラブ | 既存（ホスト）クラブの会員となる少人数のグループ。ホストクラブとは別(同一場所・別時間帯の例あり)の場所で例会や奉仕活動を行う。国際会費等の条件は同一。 ホストクラブは常に衛星クラブと連絡を取り合い交流して、衛星クラブ会員のキワニスの活動や会議などの参加を促すなどサポートを継続して行う。 時間や場所の関係でホストクラブの例会や活動に参加できない環境にある人たちにキワニスの輪を広げることが出来る。 |
| 学生クラブ | 衛星クラブの一つ。18 歳以上の大学生および大学に在籍するその他の学生が会員。日本地区会費は半額。 |
| 主婦中心クラブ | 会員構成が主婦層中心のクラブ。国際会費等の条件は同一。衛星ではなく独立したクラブ。 |

長崎クラブが設立され地区全体のクラブ数は 29 となり目標を達成した。組織の多様化については、熊本クラブが衛星クラブを設立した

- 広島クラブは新設及び新設計画ともになし。組織の多様化についても検討なし

2. 国際キワニスへの積極的参画

1) 第二次世界奉仕活動(Worldwide Service Project)『妊産婦・新生児破傷風撲滅運動 The Eliminate Project (通称エリミネイト・プロジェクト)』への参加

(ユニセフとの共同事業で、妊産婦・新生児破傷風を撲滅するために 2015 年までに 1 億 1 千万米ドルの資金調達を図るプロジェクトである)

日本地区は昨年度東日本大震災の為一時中断していたエリミネイトへの取り組みを再開した。

2011.10 各クラブのエリミネイト・プロジェクト・コーディネーターを決定

第一次目標…2015 年 9 月までに \$ 783,394 (¥ 63,000,000)の資金を調達すること

日本地区会員 1 人当たり 4 年間 \$474(¥ 38,000)

2012.3~6 各クラブにプレッジ《約束寄付》を利用して募金期間を長くし、より高い目標設定を奨励

100K クラブ(クラブで10万ドル以上の資金調達を目標) **達成をプレッジ宣言**

…2クラブ(東京、名古屋)

モデルクラブ(会員1人当たり\$750(¥60,000)の資金調達を目標) **達成をプレッジ宣言**

…8クラブ(東京、仙台、横浜、福岡、千葉、泉州、静岡、金沢)

2012.6 日本地区がプレッジを含む会員1人当たりの募金額で世界のトップになった事により、齋藤

2011-2012 日本地区ガバナーが「ガバナー・オブ・ザ・イア」を受賞

(2012.6 現在の日本地区 入金済み募金総額…\$79,425.00)

- 広島クラブは ASPAC 広島大会の募金活動を優先させるため、エリミネイト・プロジェクトには ASPAC 大会終了後に本格的に取り組むこととして、敢えてクラブ内に告知せず実質的な募金活動はしなかった。決定した方針などは以下3点

① 広島クラブのクラブ・コーディネーターに坪井 2011-2012 広島クラブ会長を選任決定した

② 第一次募金目標…2015年9月までに会員1人当たり\$474の資金調達

③ プレッジ《約束寄付》は宣言しない

妊産婦・新生児破傷風(MNT)は、破傷風菌の胞子が出産中切開部に付着することで起こる。多くの国々ではワクチン接種の普及や医療システムの改善によりMNTは撲滅されている。現在この病気によって命を落としているのは、主にアフリカ、アジアの、貧困や紛争またはインフラの未整備により医療が行き届かない国や地域に住む若い母親と新生児であり、それらの約30ヶ国では、新生児が9分毎に1人の割合でMNTにより死亡している。

エリミネイト・プロジェクトの名前の由来は、妊婦・新生児破傷風を表す maternal/neonatal tetanus の中の M、N、T という3文字が撲滅という英語の ELIMINATE(エリミネイト)に組み込まれていることから。

2) 国際キワニス年次総会等国際大会への積極的参加

- ① 第37回ASPACコロポ大会(H24.3.15~17)(日本地区:8クラブ77名)
会員8名(河尻、神出、清水、住吉、末長、田村、三谷、井上)
同行者8名(会員夫人3名様、元会員1名様、広島信用金庫社員様他)
目標の10名以上参加を達成した。総会での広島PRビデオ上映、神出大会組織委員長の英語スピーチ、バッジやパンフレットの配布など参加会員はASPAC広島大会の宣伝活動に努め、上々の反応を得た。
- ② 第97回国際年次総会ニューオーリンズ大会(H24.6.28~7.1)(日本地区:7クラブ31名)
広島クラブから参加なし
- ③ 第36回日本地区年次総会和歌山大会(H24.9.7)(日本地区:27クラブ352名)
会員9名(坪井、河尻、堀江、神出、井上、稲田、鶴川、森、森元<英>)
家族2名(神出、森元<英>)
目標の10名以上参加を達成した。総会で神出大会組織委員長がASPAC大会準備について報告および出席勧誘のスピーチを行い、他の参加会員はその後ろでPR横断幕を掲げて応援した。

3) 国際キワニス財団 (KIF) への資金協力※①

クラブ…アニュアル・クラブ・ギフト・キャンペーン (@¥2,000-×76=¥152,000-)

※①国際キワニス財団 (KIF) とキワニス日本財団 (KJF) が協定を結び、KIF が主導する募金活動への日本国内の寄付金は、KJF が代わりに受け取り、KIF の承認を得て、KJF の推奨する、日本、または海外での助成金として支出することができる。こうしてKJF を通すことにより、KIF への寄付金を所得控除対象にすることができる。寄付の種類→P7 を参照。

4) 「キワニス・ワン・デー」※② (H24. 4. 21)

適当な企画が出せず実施しなかった

※②2007-08 国際会長ネルソン・タッカーが呼びかけて始まったもの。4月の第二土曜日、全世界のキワニスクラブ (および関係団体) が、クラブごとに何らかの奉仕活動を行い、これにより地域の人々にキワニスを知ってもらい、入会見込みのある人々にキワニスの奉仕活動をお見せして、キワニスの活性化を図るという趣旨。(前後3週間程度の日程のずれは容認されている)

3. 子どものための奉仕活動の推進

1) キワニスドール※③の更なる普及活動

- ドールの作成…3 1 3 会員・家族…4 8 外部ボランティア…2 6 5
- ドールの贈呈…1 8 1 JA 広島総合病院…4 0
鳥取大学医学部附属病院…8 0
日本赤十字社庄原赤十字病院…3 0
JA 尾道総合病院…3 0
一般の方…1

(5/15 日本赤十字社庄原赤十字病院、5/31JA 尾道総合病院への贈呈時に病院で贈呈式を開催した)

- キワニスドール綿詰め体験会の実施
第 969 回例会(H24.9.27)にて出席の会員がキワニスドールの綿詰め作業にチャレンジした。実際にドールに触れることにより、広島クラブ会員内に活動への理解を深め関心を喚起することを図った。

※③「キワニスドール」とは、主に病気の子どもたちに贈る手づくりのぬいぐるみ人形のこと。治療の説明や子どもたちの心の癒しのために使用する。

2) 児童虐待防止活動への取組み

- 子どもをテーマとした例会講演実施
第 948 回例会(H23.11.10)「難病と闘う子ども達からのメッセージ「夢の力・夢を大切に」講師:(一財)メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン広島支部代表 奥田郁江氏」
- オレンジリボンキャンペーン参加
広島県の児童虐待防止キャンペーン「みんなで子育て！ オレンジリボンキャンペーン」に参加。11～3月の例会でオレンジリボン着用を励行、地域・勤務先でチラシやオレンジリボンの配布に協力した。
また会員の要望により、NPO法人児童虐待防止運動ネットワークからオレンジリボンピンバッジを購入して希望する会員に1個千円で販売(22ヶ)、差額の五百円をクラブ基金へ寄付した。

3) その他

- 赤い羽根共同募金 ドナーチョイス・社会課題解決プロジェクト募金の紹介

広島県のドナーチョイス型の共同募金事業を会員紹介して、団体への任意の寄付を奨めた。

4. 公益財団法人キワニス日本財団 (KJF) ※④との連携

① 国の内外における大規模災害義捐金募集実績

| | 広島クラブ計 | 日本地区計 |
|--------------------|-----------|-------------|
| ▶ 台風 12 号 (H23.10) | ¥131,000- | ¥1,047,740- |
| ▶ トルコ地震 (H24.1) | ¥44,000- | ¥538,300- |
| ▶ タイ洪水 (H24.3) | ¥29,000- | ¥595,190- |
| ▶ フィリピン洪水 (H24.7) | ¥60,000- | ¥541,800- |
| ▶ 九州北部豪雨 (H24.9) | ¥50,000- | 集計中 |

② 各クラブの行う奉仕活動の必要事業費資金の一部助成について 適当な事業案が出せず申請を断念した。

〔 ※④キワニス日本地区のつくる財団。社会福祉、青少年への奉仕、良き地域社会の形成等の活動
や国際社会、日本文化、自然災害等に対する資金援助を目的としている。 〕

5. 広報活動の強化

1) 日本地区のホームページ[<http://www.japankiwanis.or.jp>] (以下 H.P) にエリミネイト・プロジェクトのページを追加、プロジェクトの進捗条項を適宜発信している。

- 広島クラブの H.P (<http://www.hiroshimakiwanis.org>) には ASPAC 広島大会ページを追加

2) フェイスブックによる情報発信・共有を開始した。

国際キワニス日本地区 (Kiwaniis Japan) …一般に公開されている。キワニス日本地区の情報を広く発信

<http://www.facebook.com/japankiwanis>

キワニス日本地区…非公開グループで、キワニス会員と事務局員だけでメンバーが構成されている。日本地区 29クラブが活動や例会を紹介している。キワニス日本地区内でメンバーが情報を共有するのに役立っている。メンバーに入るには主宰のキワニス日本地区事務総長への友達申請と承認が必要

- 広島クラブでは会員 2 名 (井上、金田) と事務局員がメンバーに入っている

3) 日本地区 50 周年記念として「キワニスの歌」をつくるための準備委員会を発足

- 現在広島クラブで関わっている会員はいない

4) その他

- 広島クラブの広報活動実績 (マスコミ等に報道依頼をしてクラブの活動を取り上げて頂き、キワニスの知名度の向上を図る)

▶ H23.10 キワニスクラブ新体制発表 「広島経済レポート」、「経済レポート」

▶ H23.10 広島キワニスクラブの活動について『月刊経済春秋』10月号

- ▶ H24.7 留学生日本語スピーチコンテスト in 広島 2012 「中国新聞」、「NHK 広島」、「テレビ新広島」

広島クラブの事業・行事について

1. 奉仕活動（前記日本地区の事業計画に沿った活動以外のもの）

1) 第 40 回キワニス社会公益賞（H24.7.12）

- 個人 1 名、2 団体の受賞者に 各¥70,000- 計¥210,000-、および賞状の贈呈

2) 留学生日本語スピーチコンテスト in 広島 2012（H24.7.21）

- 広島県内の留学生を対象に日本語によるスピーチコンテストを実施
最優秀賞 1 名、優秀賞 1 名、佳作賞 4 名、審査委員長特別賞 1 名、努力賞 10 名、参加賞（応募者 42 名全員）、交通費（出場者全員） 計¥345,000-相当の金品贈呈（※参加賞は中国電力様様の寄付）

2. クラブ例会・行事

- 例会 24 回実施
 - ▶ 平成 23 年度定時総会（H23.10.27）
 - ▶ 第 42 回クリスマス家族会（H23.12.22）（「留学生日本語スピーチコンテスト 2011 in 広島」の出場者・家族 18 名招待）
 - ▶ 新年互礼会（H24.1.12）
 - ▶ ジョッキ例会（H23.8.4）
 - ▶ 平成 23 年度臨時総会（H23.9.22）
- 第 2 回大人の社会見学「広島市消防局見学会」（H23.11.4）
- 第 20 回会員交流会「戸田本店鯛料理お食事会」（H24.6.10 戸田本店）

3. 中国/四国ディビジョン内の交流行事

- ▶ 広島クラブ主催 第 42 回クリスマス家族会（H23.12.22）
福山クラブ会員 3 名出席
- ▶ 高松クラブ主催 中国/四国ディビジョン合同ゴルフ会（H24.3）
広島クラブから参加なし
- ▶ 福山クラブ主催 福山キワニスクラブ設立 10 周年記念祝賀会（H24.6.10）
広島クラブから会員 4 名、事務局員 1 名参加（坪井、河尻、貝川、塚井、事務局穂下）

4. 国際キワニスアジア太平洋総会（ASPAC）広島大会準備委員会

- 準備委員会構成（神出、稲田、井上、上田、金川（吾）、倉本、清水、田村、戸崎※6 月退会、森）
- 大会概要を決定して 10 月から大会案内を開始している。（参照：別紙 ASPAC 大会 H.P 抜粋）



広島キワニスクラブ平成 25 年度事業計画

国際キワニス日本地区の事業計画に沿った事業について

1. クラブの新設と会員増強

各クラブとも会員純増の目標を定め、会員層の多様化にも配慮しながら新しい会員の勧誘に注力する一方、既存会員の維持に工夫を凝らす。

クラブ新設については、中期計画を策定し、目標を明確にし、ディビジョン単位で取り組む。組織の多様化も視野に入れた新設に努力する。

- 1) 会員増強…H24. 10. 1 現在の会員数 72 名から 4 名純増を目標とする
- 2) 新設クラブ計画、組織の多様化…計画なし

2. 国際キワニスとの連携と協力

1) エリミネイト・プロジェクトへの協力

本年度はさらに多くのモデルクラブの誕生を後押しし、平成 25 年 1 月には日本地区の最終目標金額を策定する。各クラブの責任者の自覚を促し、会員及び世間一般に対する広報活動や多岐にわたる募金活動を展開する。

- H25.1 に第一次目標金額を修正するかどうか決定する
- H25.3ASPAC 広島大会終了後から具体的な活動を始める

2) 国際キワニス年次総会等国際大会への積極的参加

国際キワニスの当面の方針を確認し、また世界各地の奉仕活動を参考にするため、平成 25 年 3 月 ASPAC (アジア太平洋地域) 広島大会への積極的参加をお願いし、成功に導くとともに、その他の各種国際会議等に対しても積極的な参加を図る。

- ① 第 38 回 A S P A C 広島大会(H25.3.7~9) (日本地区目標:全クラブ 400 名)
広島クラブ会員は全員参加または何らかの形での参加を目標とする
- ② 第 98 回国際年次総会バンクーバー大会(H25.6.27~30) (日本地区目標:7 クラブ 30 名)
参加目標は立てないが、会員の要望があればツアー企画などの参加の支援を行う
- ③ 第 37 回日本地区年次総会新潟大会 (H25.9.6)

会員・家族合わせて 10 名以上の参加を目指す

3) 国際キワニス財団 (KIF) への資金協力

国際キワニス財団 (KIF) が主導する募金活動に対し、エリミネイト・プロジェクト関係の寄付も含めて引き続き協力する。

| クラブからの寄付 | | |
|----------------------|------------------|--|
| アニュアル・クラブ・ギフト・キャンペーン | 目標：日本地区全体で二万ドル以上 | 会員数×¥1,500-を寄付予定 クラブ会費から支出(参照：H25 収支予算書“日本地区分担金”) |
| 個人からの任意の寄付 | | |
| ヒクソン・フェロー | 目標：日本地区で 10 人 | 1回 \$ 1,000-。2回目はダイヤモンド・フェロー。以降3回目は2nd、4回目は3rd…。 |
| ファウンダーズ・サークル | 目標は特に設けない | 累積 \$ 25,000-寄付達成。青銅の鷲の像とファウンダーズ・サークルのピンが贈られる。 |
| タブレット・オブ・オナー | ” | 個人やグループが \$ 2,000-の寄付をして、家族や友人、団体などに贈ることができる。 |
| ヘリテイジ・ソサエティ | ” | KIF を遺産受取人に指定する。 |

- ☞ これらの KIF への寄付金は、キワニス日本財団 (KJF) を通すことによって特定寄付金となり、所得控除対象になります
- ☞ 寄付は随時受け付けております。ご希望の方は広島キワニスクラブ事務局へご連絡ください。
- ☞ エリミネイト寄付も当クラブ本格的スタートは H25. 3 以降ですが、寄付は可能です。円高の内に寄付しておきたいという方はご遠慮なく事務局までお問い合わせください。

4) 国際理事選挙への注力

平成 25 年 3 月の ASPAC (アジア太平洋) 地域枠国際理事選挙に、元日本地区ガバナーの清重尚弘会員 (熊本クラブ) を推薦し、選挙活動を支援する (選挙は ASPAC 広島大会 3 日目に実施される)

- 清重会員の当選の為には拡大代表権のある元日本地区ガバナーが出席・投票することが重要。広島クラブとしては徳永会員にぜひ 3/9 (土) の総会にご出席いただきたい

3. 子どものための奉仕活動の推進

日本地区全体としては、国際キワニスの「子ども最優先」(Young Children Priority One) の精神に基づき、奉仕内容の充実、参加者の裾野拡大のため以下のような活動を推進する。

1) 東日本大震災からの復興支援については、長期的な観点からの支援が必要である。キワニス共同募金を介して、被災地の子ども達に有効な支援を実行していく。

- 広島クラブの東日本大震災支援活動…独自活動の予定なし。
- キワニス日本財団やキワニス共同募金からの支援要請があれば対応を検討する

2) キワニスドールの更なる普及活動

- ドールの作成…引き続き外部ボランティア（海田高校、広高校など）に依頼、ドール贈呈式にボランティア参加してくれた生徒を招待するなどして、交流・相互理解を深めるように努力する
- ドールの贈呈…未定

3) 児童虐待防止活動への取組み

- 子どもをテーマとした例会講演の実施
- 例会で子育てサポートやオレンジリボンキャンペーンのリーフレット配布
- オレンジリボンキャンペーン参加（オレンジリボンの着用など）

4) 「キワニス・ワン・デー」(H25. 4)の実施については、各クラブ独自のアイデアに基づき、出来る限り多数の会員が参加して、子どものためにみんなで汗をかく奉仕活動を行う。

- 広島クラブのキワニス・ワン・デー計画は、ASPAC 大会開催で多忙の為なし

4. キワニス日本財団（KJF）との連携

「キワニスの社会奉仕活動」に対する世間の期待と認識が高まりつつある中、更に幅広い社会貢献を展開するため、KJF と密接な連携をとりつつ、以下の様な公益事業を推進する一方、寄付金等に対する税制上の恩典を活用して資金ファンドの増大に貢献する。

- ① 国の内外における大規模災害に対する義捐金を募集し、寄贈する。
 - ▶ 例会で募金活動
- ② 各クラブの行う公益活動プロジェクトの中から優れているものを選び、その必要事業費の一部に対し資金助成を行う。
 - ▶ ASPAC 広島大会2日目（2013.3.8）のフォーラム事業を申請する
- ③ 一般公募による優れた国内外の公益奉仕活動に対し資金助成を行う。
 - ▶ 推薦するかどうかが未定
- ④ キワニス日本財団の管理費を災害募金から拠出するのを取り止めたのに伴い、会員1人当たり¥1,500-を負担する。
 - ▶ 会員数×¥1,500-をクラブ会計から支出

広島クラブの事業・行事について

1. 奉仕活動（前記日本地区の事業計画に沿った活動以外のもの）

1) 第41回キワニス社会公益賞（H25.7.12）

- 2～3名の受賞者に 計 約¥200,000-、および各々に賞状贈呈（予定）

2) 留学生日本語スピーチコンテスト in 広島 2012（H25.7 予定）

- 日程未定。

2. クラブ例会・行事

- 例会 24 回予定

- ▶ 平成 25 年度定時総会（H24.10.25）
- ▶ 第 43 回クリスマス家族会（H24.12.20）
- ▶ 新年互礼会（H25.1.10）
- ▶ 平成 25 年度臨時総会（H25.5～6 月の例会）
- ▶ ジョッキ例会（H25.8.8）

3. 中・四国ディビジョン内の交流行事

- 広島クラブ主催 第 43 回クリスマス家族会（H24.12.20）
 - ▶ 福山クラブ、松江クラブに案内状発送予定

4. 第 38 回 ASPAC（アジア太平洋総会）広島大会（H25.3）

- 大会運営担当を細分化し、各委員会単位で担当を分担決定

平成25年度広島キワニスクラブ役員（平 24.10.1～平 25.9.30）

| | | | |
|---------------------------------------|-------------------------|-----------------------|------|
| 会 長 (ASPAC 大会組織委員長) | じん で とおる 神 出 亨 | 株式会社中電工 取締役社長 | (新任) |
| 前 会 長 | つぼ い ひろし 坪 井 宏 | 広島信用金庫 理事長 | (新任) |
| 副 会 長 | ほり え のり つな 堀 江 規 維 | 堀江会計事務所 所長 | (再任) |
| 副 会 長 | かわ ひら とも とし 川 平 伴 勅 | 一般財団法人ひろぎん経済研究所 理事長 | (再任) |
| 副会長(兼)ASPAC 実行委員長 (ASPAC 大会組織副委員長) | た むら こう ぞう 田 村 興 造 | 広島ガス株式会社 代表取締役 社長執行役員 | (新任) |
| 会 計 監 事 | やま もと じゆん じ 山 本 準 治 | 山本準治公認会計士事務所 所長 | (再任) |
| 事 務 局 長 | つか い なお き 塚 井 直 樹 | 元中国高圧コンクリート工業株式会社 相談役 | (再任) |
| 事務局次長 | いの う え とも いち 井 上 友 一 | 井上友一税理士事務所 所長 | (再任) |
| メンバーシップ委員長 | かわ じり きよし 河 尻 清 | 日の丸産業株式会社 取締役社長 | (新任) |
| 社会公益委員長 | よし た さだ ゆき 吉 田 貞 之 | 広島県信用組合 理事長 | (再任) |
| 事業企画委員長 | むら お せいたろう 村 尾 誠 太郎 | 株式会社テレビ新広島 専務取締役 | (新任) |
| 国際委員長 | うえ だ みどり 上 田 みどり | 広島経済大学 教授 | (再任) |
| 広報委員長 | あ だち しゆん てい 安 達 春 汀 | 書家・刻字作家 | (新任) |
| 青少年教育委員長 | かね だ こう ぞう 金 田 幸 三 | 中電プラント株式会社 相談役 | (新任) |
| 総務委員長 | なか がわ ひ で お 中 川 日出男 | 日本赤十字社広島県支部 顧問 | (再任) |